サーキュラー・エコノミー-広域マルチバリュー循環（CE-MVC）研究会 の取り組みの一つとして、サーキュラー・エコノミー ミニ・テクニカル・プラットフォーム＜公開 Zoom＞をご紹介致します。

No.14 サーキュラー・エコノミー　ミニ・テクニカル・プラットフォーム

【日時】2026 年 12 月 16 日（月）１４時から１５時３０分：Zoom 会議

【題目】株式会社ティーエス・プロ　中井一　様ご紹介

「修理するのは、モノだけじゃない ― 日本で「直す」を生業にする、ティーエス・プロの循環型ビジネスモデル」

【趣旨】

サーキュラー・エコノミーは物質が循環するだけでなく、ビジネスと消費が毛細血管のように幾重にも絡み合うことで 資源をより有効に使い社会の活動度を上げていく新しいビジネスモデルです。

そのためには、従来の方式では売るための商品づくりに一方向で収斂していたモノづくり技術を、多様な需要や使用そして再使用の要求に こたえていくことが重要です。 しかし、私たちは、依然として売るためのモノを大量に作ることが効率的であるという発想に縛られてしまいます。

そこで、必要となるのが、多様な技術やシステムの発想を外から持ってくるオープン・イノベーションが求められます。

それを支える一つの手段が、オープン・イノベーションのための情報プラットフォームです。特に、モノづくりの技術はこのプラットフォームで、モノのメンテナンス、修理、劣化防止、リファービッシュなどへと大きく展開していきビジネスチャンスを広げることが期待されます。

サーキュラーエコノミー&広域マルチバリュー循環研究会では、まず研究会の中から、そのようなプラットフォームを試行的に試みようと思っており、「ミニ・テクニカル・プラットフォーム」と名付けて、オンラインでのフリー参加できる、技術の紹介や、技術の需要、期待などを紹介し合える場を試みたいと思います。なお、より広範に人や技術、解決すべき課題と出会えるように、視聴はオープンとし、ZOOM とともに youtube を用いますが、 技術の提供や、要望は基本的に研究会の会員からの発案に限らせていただきます。

【概要】

「リペアはビジネスにならない」「リサイクルはうまみがない」―

―日本のサーキュラーエコノミー（CE）は、この諦めの壁の前で足踏みしています。欧州では修理する権利が法制度として動き始めましたが、同様の仕組みを持たない日本では、修理を社会に根付かせる担い手は事業者自身です。

本講演では、オランダ発祥のリペアカフェ運動を描いたドキュメンタリー『リペアカフェ（THE REPAIR CAFE)』を手がかりに、修理が「モノ」だけでなく、思い出・コミュニティ・消費の仕組みまでも直しうるという社会的意義を紐解きます。そのうえで、メーカーのアフターサービスを担ってきたティーエス・プロが展開する「Crafted Audio Services」の、ヴィンテージオーディオのリストア（蘇生）とリコマース（再流通）を事例に、修理を"コスト"ではなく"価値の再生"として設計するビジネスモデルを紹介します。

日本型 CE を実装するための可能性と、企業・地域・研究機関との連携のあり方を、皆様とともに考えます。」

【アジェンダ】

14:00-14:05　挨拶

原田幸明　CEMVC 研究会　代表理事

14:05-14:50（途中休憩 5 分有り）

「修理するのは、モノだけじゃない ― 日本で「直す」を生業にする、ティーエス・プロの循環型ビジネスモデル」

中井一／株式会社ティーエス・プロ

14:50-15:20　展開討論　ーCE 視点からの可能性と連携を考えるー

【参加者】

参加、無料です。メディア等の方も事前申し込みをお願い致します。

【参加方法】

以下の URL から、選択し、お申し込みください。

https://circular-industries.net/meeting/

お申込みにより、Zoom および YouTube の URL が見れます。